

男女共同 さんかくノート



男女がともに輝く社会の実現を目指して

あなたはと思う？ ～チェックしてみよう！～

- 男性は男らしく、女性は女らしくするべきだ
- 男性は仕事、女性は家庭がうまくいく
- 料理や洗濯等の家事や育児・介護は女性がするものだ
- 家族を養うのは男性の役割である
- 妻が仕事をする場合は、家庭に支障をきたさない程度にするべきだ
- 子どもの参観日や PTA 活動は、母親が出席したほうがよい
- 家の手伝いは、男子より女子がするほうがよい
- 自治会長や PTA 会長は、男性の方が向いている
- 男性が育児休業をとるのはおかしい

ひとつでもチェックがいたら、「男だから・女だから」という性別による役割分担の意識があるのかもしれませんが、こうあるべきと決めつけずに、一人の人間として尊重しあい、対等な関係をつくりましょう。

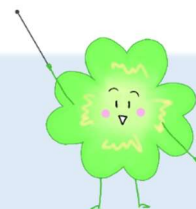


Q. 男女共同参画社会ってなに？



A. 男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことを「**男女共同参画社会**」といいます。

Q. 男女共同参画社会ってなぜ必要？



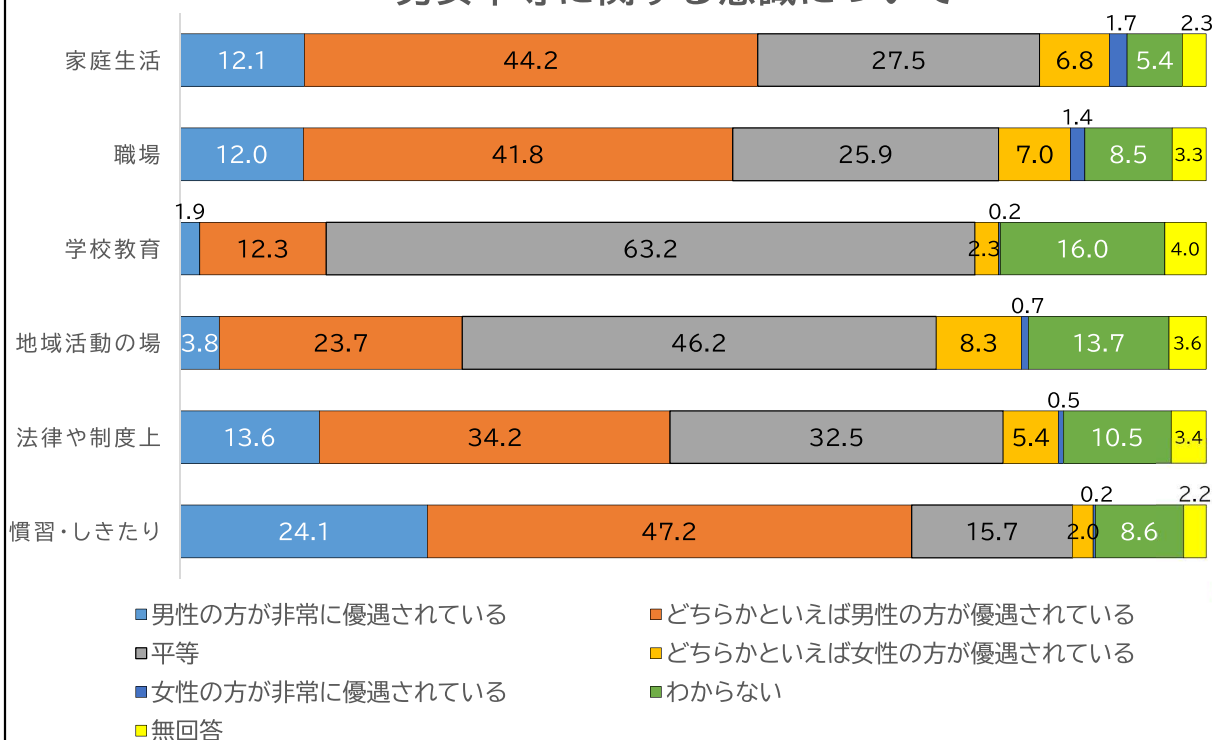
A. 「**男女の人権の尊重**」が大切だからです。

日本国憲法には、**個人の尊重**と**法の下での平等**が定められています。その他の法令や制度等でも、男女平等がうたわれています。しかし、家庭や職場などのさまざまな場面で、男女間の不平等を感じている人がたくさんいます。

また、「男性は仕事、女性は家庭」といった**性別による役割分担の意識**は、時代とともに変わりつつあるものの、それでも、職場や地域、議会など政治の場では、女性が少ない現況が続いています。

「男だから、女だから」という理由で、生き方や人生の選択が制限され、個性や能力を発揮する機会が奪われてしまうことは問題です。男性も女性もすべての個人が、家庭で、職場で、地域で、学校で、それぞれの個性と能力を発揮できる社会づくりが必要なのです。

男女平等に関する意識について



学校や地域以外では、平等と感じている人が少ないんだね。



高知市「令和元年度男女共同参画に関する市民の意識調査」より

Q. 男女共同参画社会ってなぜ必要？

A. 社会や経済の変化に対応するために必要なことだからです。



日本は少子高齢化が進み、経済活動を支える労働力が減少しています。労働力が減少すれば、日本の経済規模は縮小する可能性が高くなります。また、高齢者の増加は、年金や医療などの社会保障にかかる費用が増えることにつながります。将来、これらを支える現役世代の人口の減少により、社会保障制度を維持していくことは難しくなってきます。

少子高齢社会に対応するためには、働いてお金を稼ぐのは男性、家庭で家事や育児、介護といった役割を担うのは女性という意識を変え、仕事でも家庭でも男女がともに力を発揮できるようにすることが大切です。



現在は、さまざまな商品やサービスが生まれ、消費者のニーズも多様化しているよ。女性の視点や発想もいかして、新たな経済活動を創り出すことが求められているよ！

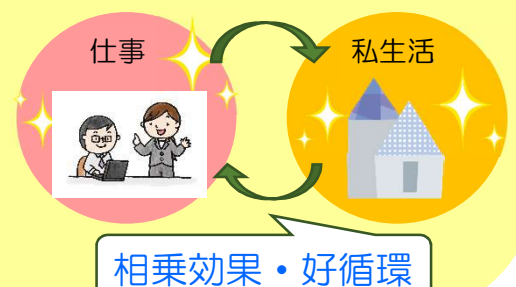
Q. 男女共同参画社会を実現するためには？

A. ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)が必要

年齢や性別に関係なく誰もが、仕事や子育て、介護、自己啓発などの活動を自分の希望するバランスでできる状態をワーク・ライフ・バランスといいます。ワーク・ライフ・バランスは、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある社会の基盤としてとても重要です。

【ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは】

- ・就労による経済的自立が可能な社会
- ・健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- ・多様な働き方・生き方が選択できる社会





家事・子育て・介護は みんなで分担・協力しよう！



家事

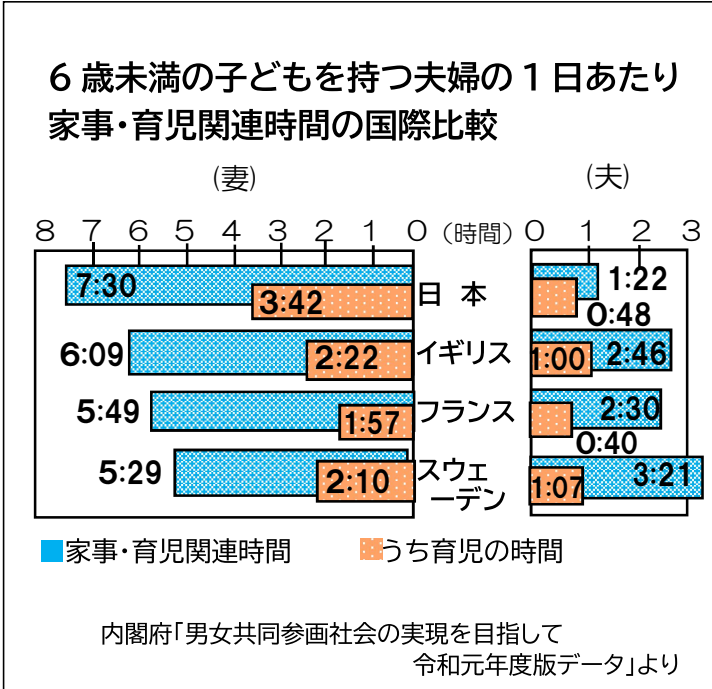
食事の支度や洗濯、掃除などの家事は、生活するうえで欠かせない大切な仕事です。みんなで協力して行えば、会話もはずみ、家での時間がより快適になります。

子育て

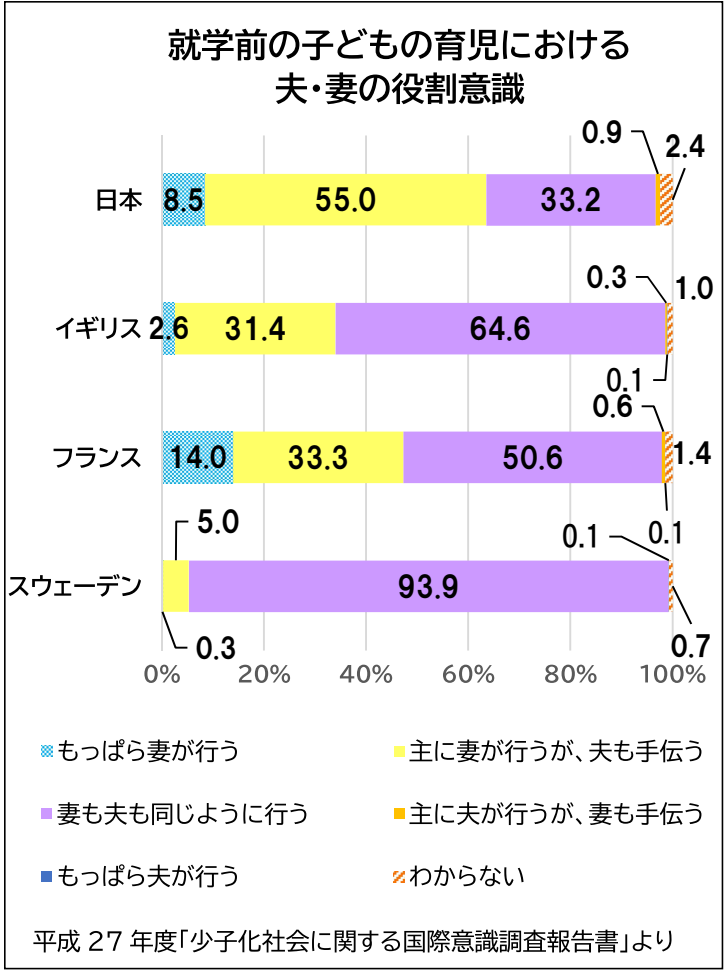
子どもと一緒に過ごすひとときは、かけがえのない貴重な時間です。お父さんもお母さんも子育ての苦労も喜びも分かち合いましょう。



子育ても介護も、一人きりで行うのはとても大変だよね。家族みんなの協力はもちろん、親せきや近所の人、それに行政などが提供するサービスを上手に利用して、一人でがんばりすぎないようにしよう！



日本は、“子育ては妻の役割”という意識がほかの国に比べて強く、男性の家事・育児への参画が進んでいないんだね。





仕事では男性も女性も 「個性」と「能力」を発揮！



仕事の企画から実施、評価まで、それぞれの過程に男女がともに参画することは、多様な視点や発想を生むことにつながります。また、高知県は全国に先行して少子高齢化が進み、労働力人口が減少傾向にあります。企業が優秀な人材を確保し、多様化する市場ニーズに的確に対応していくためにも、性別を問わず、誰もが個性と能力を十分に発揮できる職場環境を整備することが求められています。



長時間労働は、男性の家事・育児時間の少なさや、女性が仕事を続けられない原因の一つです。限られた時間で効率よく仕事を進めるためには、職場全体での取組が大切です。

◆育児や介護などと仕事が両立できるような環境を整えましょう。

- 多様な人材が活躍する職場へ(子育て中、介護中、再雇用シニア、外国人など)
- 休暇・休業制度の整備(育児休業、介護休業、子の看護休暇など)
- 働く時間や場所の工夫(フレックスタイム制度、ノー残業デー、テレワークの導入など)
- 柔軟な雇用形態(パートから正社員への転換、短時間正社員制度など)



ハラスメントは人権侵害です！

性別による権利侵害や差別的な扱いのない職場にしましょう。

- セクシュアル・ハラスメント
- パワー・ハラスメント
- マタニティ・ハラスメント
- パタニティ・ハラスメント
- モラル・ハラスメント
- ジェンダー・ハラスメントなど





みんなのまちだから 地域活動にみんなで参画！



まちづくりや防災、環境など地域の活動はさまざまです。地域に住む誰もが性別や年齢に関係なく地域活動に参画することで、ボランティア意識や地域社会の連帯感が高まることが期待されます。



地域には子どもや高齢者、障害のある人、外国人など多様な人々が暮らしています。そのライフスタイルや価値観もさまざまです。

これらの住民の声が反映されるには、地域のことを決める場に、多様な人々が参画している必要があります。

みんなで意見を出し合おう！

町内会や各種団体、自主防災組織など、地域の意思決定をする場では、多様な人々の意見が尊重されることが大切です。



例えば、災害時の避難や避難所運営について、子どもや高齢者、介護が必要な人、障害のある人、外国人、性別の違いなど、さまざまな人の立場を考慮して備えておくことが必要です。

そのためには、日頃からみんなで意見を出し合い、地域での連携を深めておくことが大切です。



Q. 男女共同参画社会を実現するためには？



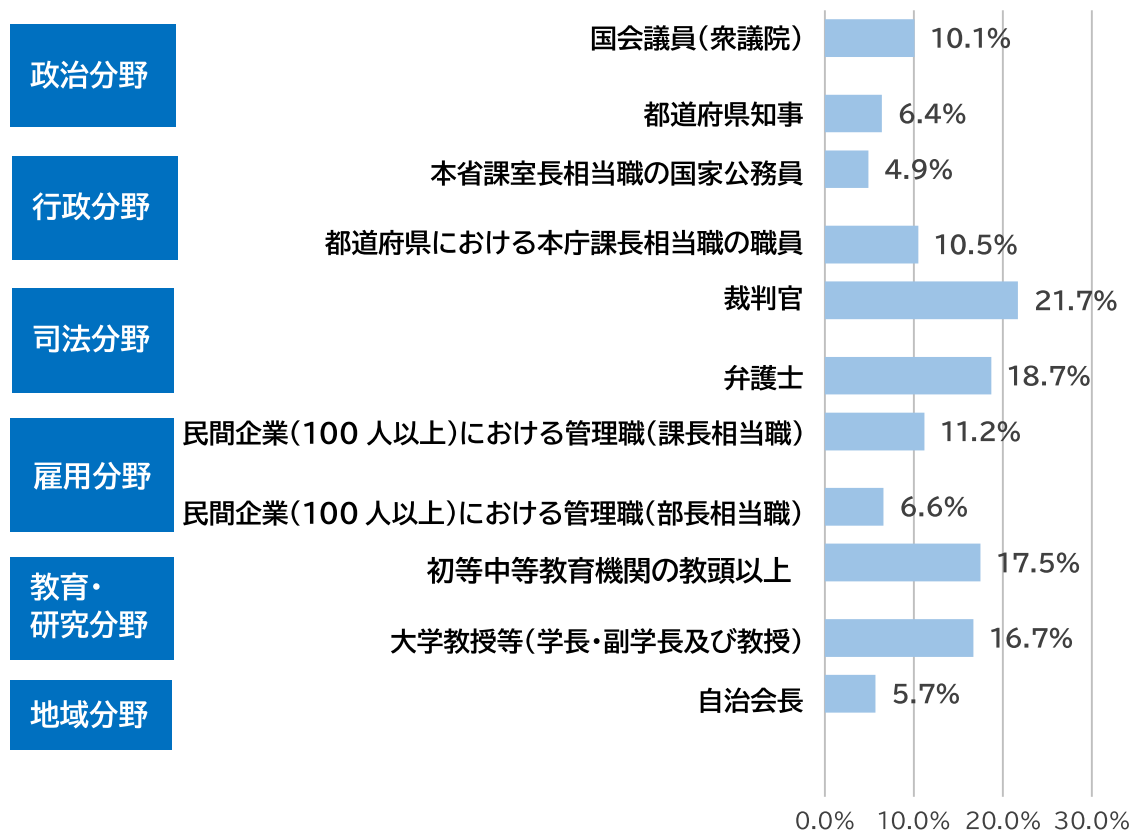
A. 社会のあらゆる分野に男女が 対等な立場で参画することが必要！

ものごとを決める場に男性しか、あるいは女性しかいないとしたら、そこで決まったことは、**みんな**にとって最良の答えといえるでしょうか？私たちの社会は男女がほぼ半分半分ですが、大事なことを決める立場や、指導的な立場にいる女性は、まだまだ少ないのが現状です。

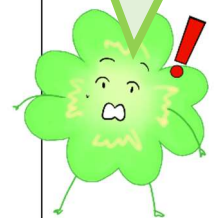
男女平等な社会を実現するためには、**社会のあらゆる分野に男女がともに参画することが必要**です。



各分野における『指導的地位』に占める女性の割合



まだまだ女性の参画が進んでいないんだね



内閣府「男女共同参画社会の実現を目指して 令和元年版データ」より

Q. 男女共同参画社会を実現するためには？

A. 一人ひとりの**人権が尊重**されることが大切です。

DV (ドメスティック・バイオレンス)について

パープルリボン
「女性に対する暴力根絶」
のシンボルです。

DVとは、配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)人からの暴力のことで、犯罪ともなりえる重大な人権侵害です。2017年の内閣府の調査では、**女性の約3人に1人、男性の約5人に1人**がDVを受けたことがあると答えています。また、同居していない交際関係での暴力は「**デートDV**」といい、若い世代の間でも問題となっています。子どもの目の前で暴力をふるうことは、「**面前DV**」と呼ばれる児童虐待です。DVは子どものためにも決して許されない行為です。

あなたはどうか？チェックしてみよう

- 大声で怒鳴ったり、物を投げつけられる。
- 親や友人との付き合いを制限される。
- 必要な生活費を渡してくれない。
- 避妊に協力してくれない。
- 携帯電話や SNS 上のメッセージ、写真などを細かくチェックされる。
- 裸の写真や動画を要求される。

ひとつでも当てはまれば、
DV・デートDVなんだよ！

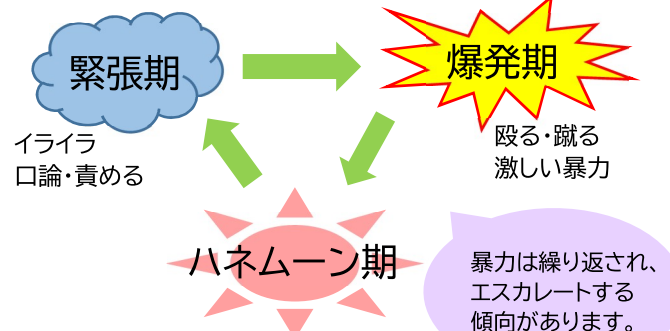


DVは、誰にでも起こりえる身近な問題です。加害者にも被害者にもならないために、自分のことを大切にすると同じように、相手のことを思いやり、お互いを尊重しあう関係を築きましょう。

【DVの種類】殴る・蹴るだけが暴力ではありません

- **身体的暴力**… 殴る・蹴る・首をしめるなど
- **精神的暴力**… 無視する・怒鳴る・脅すなど
- **社会的暴力**… 交友関係や行動の監視・つきあいを制限するなど
- **経済的暴力**… 外で働くことを禁止する生活費を渡さないなど
- **性的暴力**… 性行為を強要する避妊に協力しないなど

【DV 暴力のサイクル】



ひとりで悩まずに相談してください。

緊急の場合は、迷わず 110 番を！

高知県女性相談支援センター(高知県配偶者暴力相談センター) TEL088-833-0783
こうち男女共同参画センター「ソーレ」 TEL088-873-9555
高知市人権同和・男女共同参画課 TEL088-823-9913

高知市の男女共同参画の取組



高知市では、男女の人権が尊重され、ともに輝く社会を目指して、さまざまな取組を推進しています。

★条例・計画

男女がともに輝く高知市男女共同参画条例

男女の人権が尊重され、互いに対等な立場で、さまざまな分野に参画していくため、平成17(2005)年に市の男女共同参画の基本理念を定めた条例を制定しました。

高知市男女共同参画推進プラン

条例に基づき、市全体の施策を男女共同参画の視点から総合的にとらえた独自の計画を定めています。

★8月1日は「男女共同参画の日」～男女共同参画の日記念事業～

高知市では、初めて女性担当部署が設置された日である昭和58年8月1日を「男女共同参画の日」と定め、毎年この日を中心に啓発活動を実施しています。

男女共同参画に関する啓発作品募集

家庭や地域、職場や学校などで、男女がともに支え合い、生き生きと活躍している様子について作品を募集して表彰しています。

★市民意識調査

男女共同参画に関する市民意識調査を実施しています。

★学習

男女共同参画に関する出前講座やパネル展の開催、啓発パンフレットの配布などを行っています。

★こうち男女共同参画センター ソーレ 高知市旭町3丁目115番地 TEL088-873-9100

県市合同の男女共同参画社会づくりを推進する施設です。講演会や講座の開催、啓発誌の発行や、相談窓口の開設、施設の貸出しなどさまざまな事業を行っています。

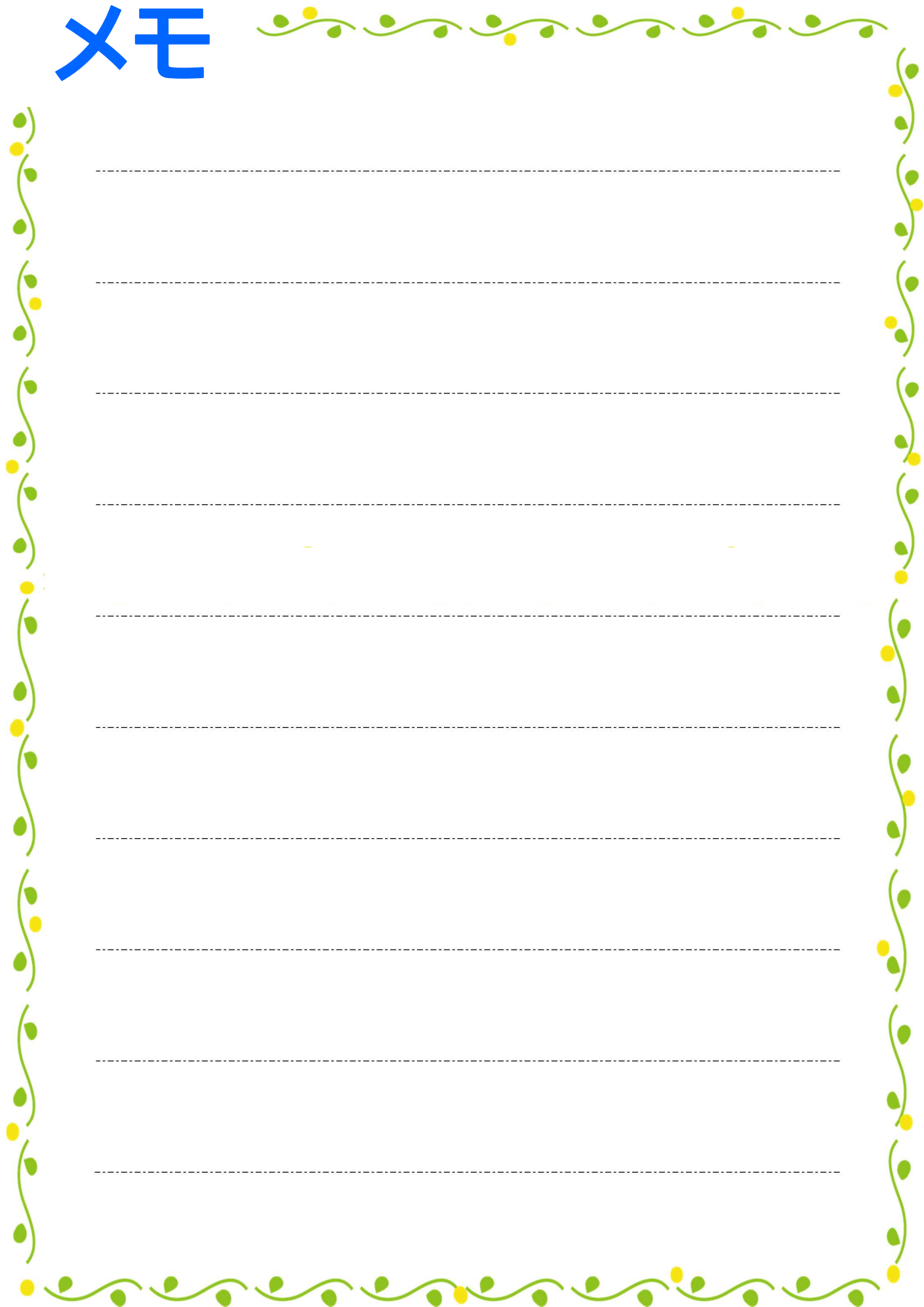
www.sole-kochi.or.jp

ソーレ

検索



メモ



A series of ten horizontal dashed lines for writing, arranged vertically in the center of the page.



発行 2020年8月

制作 高知市人権同和・男女共同参画課

〒780-8571 高知市本町5丁目1-45

TEL 088-823-9913 FAX 088-823-9351